日本キリスト教団 **東金教会〔３３〕**

2017年8月13日 聖霊降臨節第１１主日礼拝

年度目標　《神と共に闘う信仰者》

聖　句　しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	藤田	
奏楽	中里	
受付	安延	
案内	三枝	
名札係	藤田	
礼拝感謝祈祷 早乙女		
〃　〃 岡村		
前奏	中里	
讃美歌５９	一同	
使徒信条５６６	〃	
交読文３２	司・会衆	
主の祈り５６４	一同	
聖書 ローマ書１２：１４,１７～２１	司会者	
祈祷	藤田	
新聖歌３５	一同	
み言葉の伝え「復讐の心」	中村征	
讃美歌５３６	一同	
献金		
礼拝感謝	早乙女	
〃　〃	岡村	
報告	藤田	
頌栄５４１	一同	
祝祷(派遣)	中村	
後奏 新聖歌５８	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 (休会)
早天祈祷会 (休会)
聖歌練習 本日礼拝後
定期長老会 本日礼拝後
ＣＳ教師会 本日定期長老会後
聖書輪読会 8月20日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 8月20日(日)10:25-10:30

【報告】

☆猪野　、粒良　姉妹の父君小林様が8月7日逝去され、11日当教会に於て中村牧師司式の下葬儀が持たれました。ご遺族の上に主のお慰めをお祈り致します。
☆去る８月９(水)、１０(木)持たれた教会学校一泊キャンプはＣＳ生徒３１名、教師１１名で無事行ってまいりました。ご加祷有り難うございました。
☆次週８月２０日は信徒奨励として岡村長老が講壇を守られます。又、当日午後は牧師誕生日会の予定です。ご加祷下さい。
☆８月２７日は朴牧師が講壇を守られます。
☆８月１４日～１６日は幼稚園、保育園共に完全休園日です。
☆夏期献金をお覚え下さい。
☆8/16、8/23の祈祷会は中村牧師の夏期休暇により休会です。

【定期長老会報告】

[2017年7月9日分続き]
⑤中村牧師夏季休暇による祈祷会休会日(8/9 8/16,8/23)の件
⑥8月27日の礼拝に日本聖書神学校より校長神保望氏、後援会長菊池公平氏問安予定の件
⑦市川東教会(旧冨貴島教会)より当教会からの貸付金全額返済を受けた旨の報告の件
⑧朴　貞蓮牧師の夏季休暇(8/11～17)の件

【8月13日～8月19日の誕生者】

○ 深山　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/6)	１６	42	58
聖研祈祷会(8/9)	休会		
聖書輪読会(8/6)	３	５	８
教会学校(8/6)	１１	14	25

早天祈祷会

日	男	女	計
8/7	1	2	3
8/8	1	2	3
8/9	1	2	3
8/10	1	2	3
8/11			

主日礼拝献金(7/30)……３２、２００円
教会学校献金(7/30)……６、５２３円

【今日のメッセージ】

題　[復讐の心]
聖書　ローマ書12；14,17～21
1.平和について
2.復讐の心を委ねて
3.悪者になる神

【次週(8月２０日)礼拝案内】

題　[神の存在と神の愛]
聖書　ヨハネ福音書３；１６
交読文　３３
讃美歌　２７１b番　３３７番
新聖歌　９１番

【次週(８月20日)礼拝当番者】

御言葉の伝え…岡村
司式者…足立
奏楽者…中部
受付者…阿延
案内者…安田
名札当番…武川
礼拝感謝祈祷…森田
〃　〃…藤蓮
ｃｓお話し…朴　貞
会堂清掃者…武田
〃　〃…
花係…猪野
看板書き…土肥

【聖書から】

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマ書一二章一五節

よく知られたパウロの言葉である。そしてこの戒めは教会の中だけでなく、広く世に行き渡り、人に膾炙されている言葉でもある。そして人々の口に膾炙されているということは、この戒めを人は中々実行できないと言うことを示してもいる。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」、それは私たちがその人の傍らに立つことを意味している。私たちは果たして傍らに立つ者だろうか？それとも向き合って立つ者だろうか。私たち信仰者は神に対しては向き合うようにして立つことが好きである。少なくとも私はそうである。そしてそれは、神に向いて立つとき、私は本当の意味で神さまから力を戴き、慰めを戴き、教えを戴くように思うからである。ただこれがお出来になるのは神さまだけである。神だけが本当の力を持ちたもう。本当の慰め、本当の教えも神だけが持ちたもう。だから私たちは身を低くして、これらの力を頂戴すべく神に向き合うのである。ところが私たちは、そのような力もないのに他者に対しても向き合う者になろうとする。教えを与え、よき導き手になろうとしてしまう。傍らに立つのはそうではない。神ではなく、同じ人として、おろおろと思いまどう仲間として傍らに立つのである。「あなた達は教師となるな。教師はただわたしだけである」と云われた主イエスの言葉を思い出すのである。そう、教師はただ一人だけなのである。私たちは教師になるべきでない。それにもかかわらず教師になろうとするのは傲慢の表れである。私たちは自分でも気付かずに傲慢に、教師になろうとしている。このことを心に留めたい。自分が人と対するとき、自分は人と向き合っているか、それともその人の傍らにいるか吟味する者となりたいのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。